

ロータリー財団情報

ロータリー財団委員会 委員長

溝畑 正信

(東大阪東RC)

【会員基盤向上セミナー】

例年、次年度の財団活動に向けての研修は、「国立オリンピック記念青少年総合センター」にて開催されていましたが、今年度は日本ロータリーチームとして、3月30・31日に開催される会員基盤向上セミナーの2日目に、“ロータリー財団を活用した奉仕活動の更なる実践の部”として下記の通り開催されます。

2014~15年度ガバナー、ガバナー・エレクト、ガバナー・ノミニ、2014~15年度および2015~16年度TRF管理委員、RRFC、ARRFC、EPNC、E/MGA、地区会員(増強)委員長、地区広報(公共イメージ)委員長、地区ロータリー財団委員長、地区ロータリー財団副委員長、地区財団小委員長(資金推進・補助金・VTT・奨学基金・学友・平和フェロー・ポリオプラス・資金管理)が出席します。

日時：2015年3月31日(火) 10:00~16:00

場所：ホテルオークラ東京別館

セミナー：アスコットホール(地下2階)

【ロータリー財団の資金モデル】

2015年7月1日から実施される資金モデルについて、導入の経緯やどのような影響があるかわかりやすく説明された簡単なビデオができました。

<https://www.rotary.org/myrotary/ja/member-news/leaders-talk-about-rotary-foundations-funding-model>

ロータリー財団の新しい資金モデル：知っておくべき10のポイント

寄稿：イアン・ライズリー、ロータリー財団管理委員、財団財務委員長

1. ロータリアンとクラブにとっての重要性

新しい資金モデルは、現在だけでなく、これからもずっとロータリアンの活動を支えていくための財源を確保することが目的です。財団の方針は、3年分の運営費に等しい運営準備金を維持することです。

2. ポリオプラス基金への寄付に一切影響はありません

3. 恒久基金への寄付に一切影響はありません

4. 地区財団活動資金(DDF)に一切影響はありません

5. 必要な場合には、年次基金への寄付の5%が、国際財団活動資金(WF)から運営費(または運営準備金)に充てられます

今後も引き続き、年次基金への寄付は、3年間の投資期間を経た後で、50%がDDF、残り50%がWFとなります。ただし、投資収入で十分な運営費を賄えない場合、あるいは運営準備金が十分なレベルに達していない場合には、年次基金への寄付の5%に相当する資金が、WFから運営費に充てられる場合があります。運営費に充てる必要がない場合には、この5%はWFとして残り、通常のWFと同じように補助金に使われます。

6. グローバル補助金への現金拠出の5%が運営費に充てられます

7. 法人寄付の最大10%が運営費に充てられます

8. ロータリアンにしっかりと情報を伝えるためのプランを立てています

9. 研修と資料を準備しています

現在、地区とクラブの役員と委員会のための研修資料に加え、ウェビナーやEラーニング資料を作成中です。詳しくは、fundingmodel@rotary.orgまでお問い合わせください。

10. 財団は資金管理と透明性を大切にしています

【2014-15年度半期寄付状況】

2014-15年度半期を終えて、12月までに9,868,183ドルのご寄付がありました。

下記に今年度12月までの日本の寄付状況および、昨年同時期の数字を示します。今年度の寄付は前年度比で101%となっています。

※年次基金寄付ゼロクラブは、12月末現在の数字となっています。

年度	合計 寄付額	年次基金	一人あたりの 年次基金寄付額	年次基金寄付 ゼロクラブ
2014-15	\$9,868,183	\$7,756,641	\$89.39	421
2013-14	\$9,784,151	\$7,226,801	\$84.00	497

今年度の日本の目標は以下の通りです。目標を達成できるよう後半も皆様のご協力をお願いいたします。

- ◆ 年次基金
 - ・ 1人当たり150ドル
 - ・ 全てのクラブが寄付をし、寄付ゼロクラブをなくす
 - ・ ポール・ハリス・ソサエティを推進する。
- ◆ ポリオプラス基金
 - ・ クラブ1,500ドル
 - ・ 地区DDFの20%の寄贈
- ◆ 恒久基金
 - ・ 1地区5-6万ドル日本全体180万ドル
 - ・ 大口寄付(一括1万ドル以上)
 - 1地区2-3件の発掘

【ナイジェリア、ポリオ撲滅の達成が間近に】

2015年国際協議会開催中の1月19日、世界ポリオ撲滅推進活動(GPEI)で研究に携わる、WHO(世界保健機関)のハミッド・ジャファリ氏は、ナイジェリアでのポリオ撲滅が間近に迫っていると発表しました。アフリカ唯一のポリオ常在国である同国では、2013年から2014年にかけてポリオ感染数が53件から6件に減少し、過去5か月での感染は報告されていません。

ただし、アフリカでの撲滅活動が完結したと安心感をいただくのは誤りだとジャファリ氏は警告します。今後も活動を続けていく必要性を訴えると同時に、ロータリーの貢献に感謝の意を表しました。

【ポリオ症例数】

2015年2月3日現在のポリオ症例数です。

	2015年1月1日~2月3日	2014年
アフガニスタン	0	28
バキスタン	6	305
ナイジェリア	0	6
ポリオ常在国以外		
エクアトリアル・ギニア	0	5
イラク	0	2
エチオピア	0	1
カメルーン	0	5
ソマリア	0	5
シリア	0	1
世界合計	6	358

【ロータリー平和フェローシップの申請】

応募者から地区への申請書提出締切は5月31日、地区からロータリー財団への提出締切は7月1日です。地区はDDFの寄贈にかかわらず、何名でも候補者を推薦できます。

【グローバル補助金日本の参加状況】

地区別・活動の種類別 2013年7月から現在までの承認。2015/1/19

地区	奨学金	人道的	VTT	人道的+VTT	計
2500		7		1	8
2510		1			1
2520	3	2			5
2530		1			1
2550		1			1
2560	2	2			4
2570	3	1			4
2580	5	1			6
2590	2	2			4
2600	1				1
2610	2				2
2620	1	2			3
2630		1			1
2640		1			1
2650	1	2			3
2660	3	7			10
2670	2	1			3
2680	3	2	1	1	7
2700	2				2
2710	2	3		1	6
2730	1				1
2740	1		1		2
2750	8	3			11
2760	1	4	1		6
2770	4	6	1		11
2780	5	2	1		8
2790	2	5			7
2800		1			1
2820		2	1	1	4
2830		1			1
2840		2			2
計	54	63	6	4	127